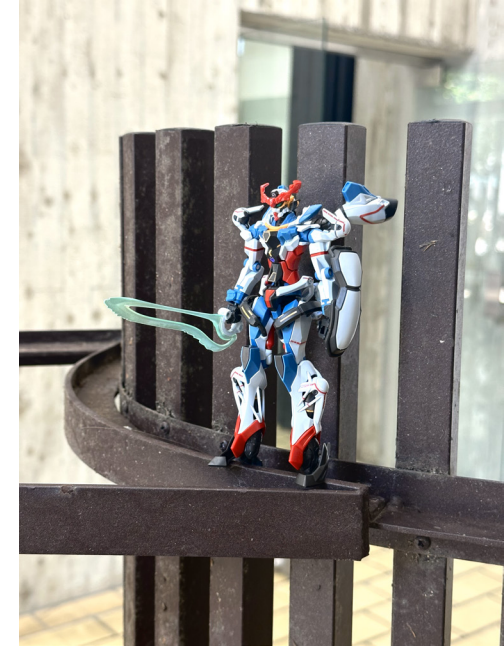






大丈夫ですか？お出口は左です

Are You All Right? Exit's on the Left.



人は安心して初めてその場所（椅子）に腰掛け、重力と制度に身を預ける。

この作品において、椅子は垂直に立てられ、その機能を失う。
人はそこへ座ることが出来ず、背もたれも、座面も、もはや居場所ではない。

居場所と思われていた椅子の〈表〉は、今や柵のように、内と外とを分かつ境界として振舞う。
（しかし、それは現に叶っていない。）

その〈裏〉、あるいは〈外〉には、宇宙と虚構を抱える 125mm のガンダムのプラモデルが佇む。

そのガンダムは、本来 18 メートルあり、頭の遥か上を、遥か下を、遥か全方位を飛ぶはずのものであって、
しかし、それは嘘である。

そうして視野を宇宙へと広げたとき、
表も裏も、内も外も、すべては出口の無い球体の、重力の上にあることに気付く。

しかし、どこからか声が聞こえてくる。
「大丈夫ですか？お出口は左です。」